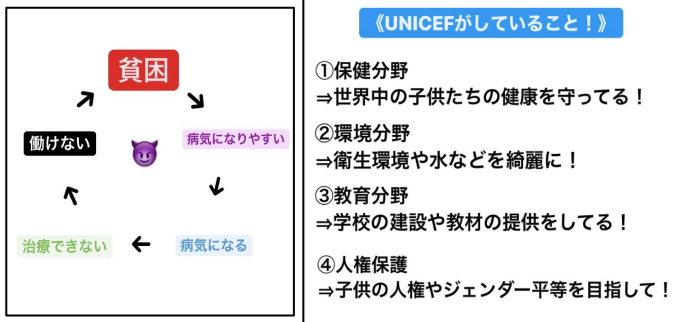


発展途上国の貧困を改善するための UNICEFの活動を知ることの重要性 E7班

1. はじめに

発展途上国の貧困の根本的な原因
→基礎的な教育や知識の不足



悪循環が発生!

⇒ユニセフの活動を知ってもらうことが募金などの協力につながり、途上国の貧困の減少に繋がる?

2. 材料と方法

①インターネットで現在行われている活動を調べる
→UNICEFのホームページや論文など

②UNICEFへの募金についてアンケートをとる
→Google フォームを利用する
(対象)三高生(1~2年生)



3. 結果・考察

①インターネットでの調査
「住民参加型による教育プロジェクト」を発見!
→現地の人々がプロジェクトに参加し、学校建設や運営をプロジェクト側と一緒に進行

↓
現地の人たちが**自立して**
教育環境を整えられるようになる

↓
発展途上国の教育水準が上がれば
貧困を減少させることができる!

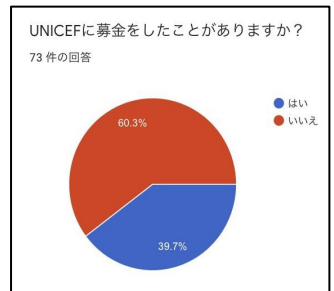
3. 結果・考察(続き)

②アンケート調査(回答件数 73件)

●募金した理由

- ・学校で行われていたから
- ・少しの募金でも役に立つと聞いたから
- ・困っている人を助けたいと思ったから。

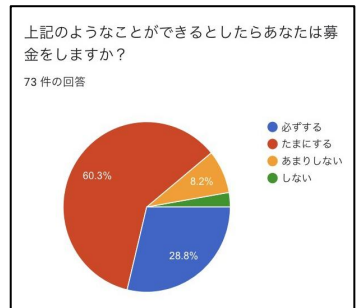
●募金をしなかった理由
機会がなかったから→70%以上!



〈500円で出来ること〉

- ・子供用鉛筆10本とノート10冊
- ・使い捨ての注射器100本
- ・はしかの予防接種ワクチン10回分
- ・4~5L浄水できる浄水剤100錠
- ・寄生虫を駆除する薬100錠

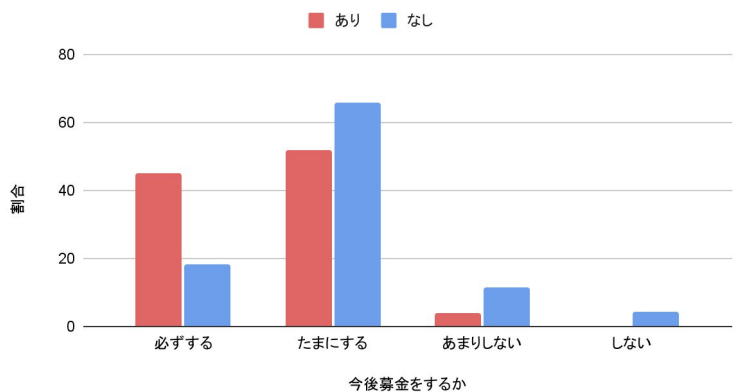
(これを伝えた後の質問 →)



その結果...

89%の人が「必ずする」「たまにする」と回答!

募金の経験の有無と今後の募金の関係



募金をしたことがある人の方がより良い回答をしている
→一度募金をしてもらえば今後も募金してくれる!

まとめ・結論

UNICEFの活動を認知する
→募金の協力につながる & 途上国の課題に関心をもつ
▶1人1人の意識が変化!...課題解決 ☺

参考文献

・<http://doi.org/10.15027/34272>

エチオピアにおける教育開発の取り組み : 住民参加型基礎教育改善プロジェクトを事例として

・<https://www.unicef.or.jp/sp/> ユニセフホームページ